

協賛パートナー

アオバ建工株式会社
取締役／イベント事業部 事業部長

渡邊 将智



profile

大学卒業後、目的のない世界一周の旅へ。気が付けばイベント会社に就職し、2018年にアオバ建工でイベント事業を立ち上げる。展示会や商業施設装飾など、全国の空間づくりを手掛ける。

事業：施設の床工事などの内装事業、イベントブース装飾や仮設店舗施工などのイベント事業

所属：さいたま商工会議所青年部、埼玉中小企業家同友会 大宮中央支部

趣味：旅行！出張では前乗りしたり、翌日に現地でゆったり過ごしたりするのが楽しみです。

アオバ建工におけるイベント事業の強みは？

私のイベント内装経験を活かし、現場目線で空間づくりをご支援できることです。例えば看板の視認性を上げる位置設定や、お子様にも安全な設計など。各現場やイベントの特徴を捉え、施工にとどまらずイベント成功を考えた内装を提案しています。

このお仕事の醍醐味を教えてください。

企業やブランドの新商品にいち早く触れ、それを社会へ広めるお手伝いができることです。芸能人を招く新商品発表会からバーの内装まで、“世界観をつくる仕事”は全て私たちの守備範囲。このHikariba芸術祭の世界観づくりにも貢献できたら嬉しいです。

2026年のテーマ「揺らぎ」について思うことは？

想像を超えるものに触れ、感情が揺れ動いた感覚を思い出します。世界一周旅行中、エジプトの街中で突然現れたピラミッドに衝撃を受けました。思ってみれば、私が携わる空間づくりも、訪れた誰かの感動を生み出す一助になれているのかもしれない。

今後のお仕事の目標を教えてください。

大きな経済成長が見込まれるフィリピンなど、現在海外展開へと動き出しています。展示会ブースや店舗内装において、日本の緻密な職人技はきっと高く評価されます。世界の内装市場にジャパंकオリティを広め、当社自身も大きく成長させたいです！

369Mouthpiece

- ミロクマウスピース -

協賛パートナー

株式会社グリーンライフプランニング
代表

プロスパービューティー
取締役

松谷 修



profile

化学メーカーの研究職を経てIT企業へ転職し、エンジニアから代表取締役に就任。経営していた会社をM&Aし、現在はヘルスケア領域として新型マウスピースの販売と睡眠サロン事業を展開。

事業：[グリーンライフプランニング] 369マウスピース等の販売
[プロスパービューティー] 睡眠サロン・講演・研修

趣味：パワースポット巡り。この春は秩父の三峯神社へお参りました！

松谷さんがお仕事で大事にする考えは？

「健やかな“いま”をつくる。」という理念を掲げて仕事しています。将来の健康のためというよりも、今この瞬間を豊かに生きようという視点です。私に関わる口腔・睡眠は、毎日の体を支え、心を豊かにする上で大切だと思っています。

その理念を持った経緯は何でしょうか？

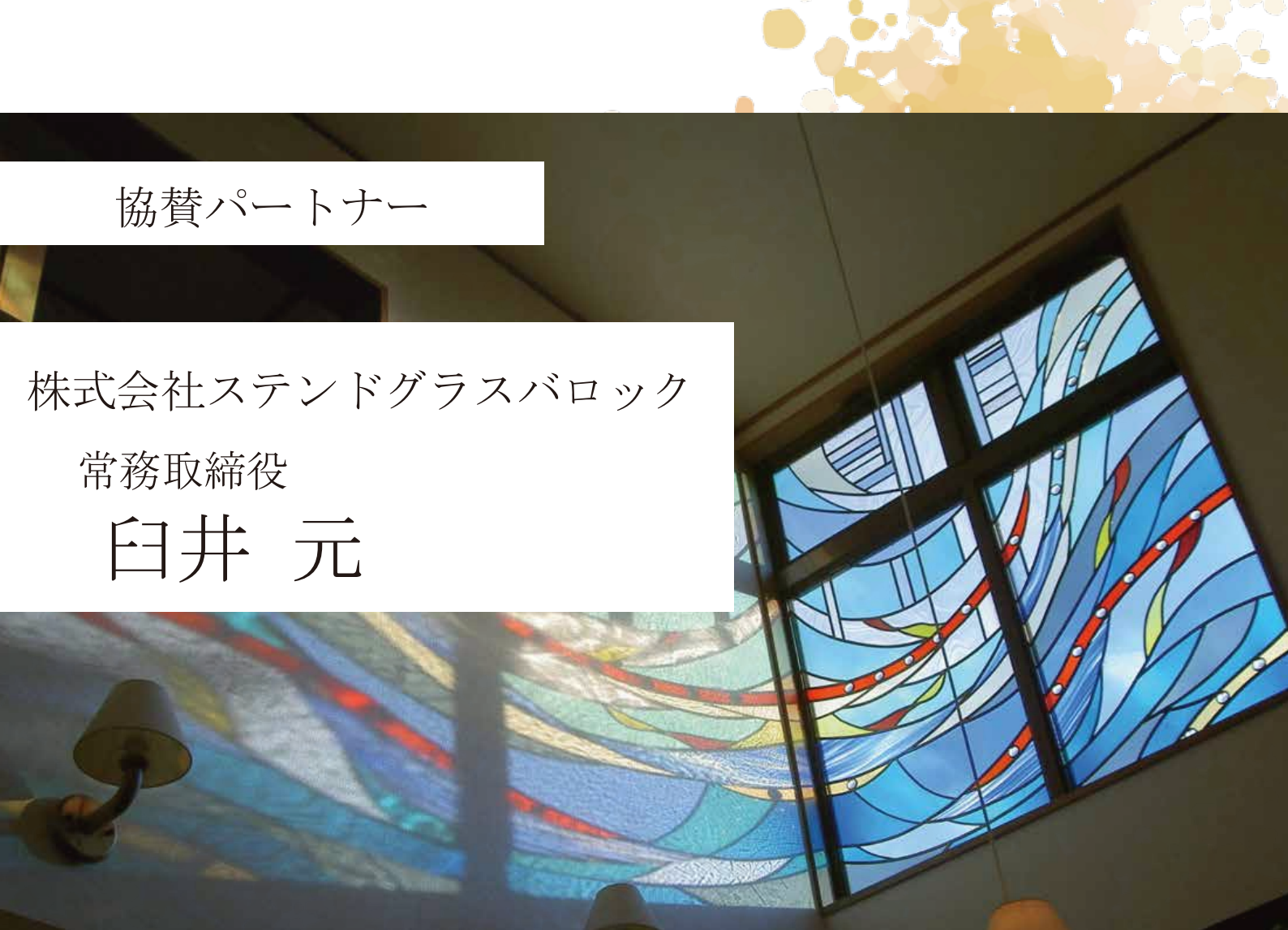
両親が亡くなったことをきっかけに、健康や幸せについて改めて考えるようになりました。長く生きることだけではなく、毎日の“いま”を心身ともに健やかに過ごすことが本当の豊かさに繋がるのではないかと。そのような思いが、この理念の原点です。

Hikariba芸術祭への参加にはどんな思いが？

心の豊かさに繋がる芸術を、多くの人に届けたいと考えました。子どもは大人の行動を真似ることで成長しますが、感情も模倣して育ると脳科学で言われています。芸術への感動をエネルギーにして心豊かな人になる。そんな場所になれば嬉しいです。

今後のお仕事の展望を教えてください！

「369マウスピース」をより多くの方に届けるとともに、睡眠や美容、スポーツ、芸術などとも連携し、心身の健康を支える事業を広げていきたいと考えています。日々の暮らしの中で、誰もが健やかな“いま”を実感できる機会を増やしてまいります。



協賛パートナー

株式会社ステンドグラスバロック

常務取締役

臼井 元

profile

大手不動産会社へ新卒入社し、都内の再開発事業で活躍。ステンドグラス工芸家の父が創業したステンドグラスバロックを継ぐため、2025年に常務取締役として入社。現在は経営や営業を牽引する。

事業：オーダーメイド専門のステンドグラス制作・販売

所属：さいたま商工会議所青年部

趣味：友人とのテニス、娘と過ごす時間

ステンドグラスに関わる仕事の醍醐味とは？

新たな価値観を届けられることです。最近ではオフィスビルのエントランスにステンドグラスを施工しました。「ステンドグラスは現代建築にも合うんですね」とお客様は驚かれていました。「こんなにも喜んでもらえる仕事があるんだ」と手ごたえを感じる日々です。

2026年のテーマ「揺らぎ」について思うことは？

ステンドグラスから部屋に差し込む光を思い浮かべました。ステンドグラスは同じ場所にある同じものでも、時間や季節、天候によって日の光の強さや角度が変わり、見る度に違う情景が広がるんです。私自身、その豊かな表情にいつも魅了されています。

Hikariba芸術祭にどのような思いがありますか？

小さな娘を育てる一人の親として、お子様が芸術と気軽に触れ合う場所を増やしたいと考え、参加しました。幼い頃からの経験は、人生の岐路に立ったときの選択肢を広げてくれます。そんな心強い味方になってくれる一つが、芸術だと信じています。

今度のお仕事の目標を教えてください。

ステンドグラスをもっと身近な芸術にすることです。教会や結婚式会場にとどまらず、街や家といった普段の暮らしでも楽しんでほしくて。最近は住宅への施工依頼も増えてきました。ハウスメーカーなどとも協力し、ステンドグラスの魅力を広めていきます。



協賛パートナー

株式会社funet
代表取締役
大林 孝一

profile

求人広告の営業として活躍後、中古車買取専門店の営業を経て同業の仲間と独立。2017年に新会社としてfunetを立ち上げ、中古車買取の他にレンタカーサービス「pastelレンタカー」も展開。

事業：中古車買取・販売、レンタカー、カーシェアサービス など

所属：さいたま市商工会議所青年部

趣味：旅行が好き。遠方へ中古車を納品しに行く際は、1泊楽しんでいます。

「pastelレンタカー」の特徴は何ですか？

まだまだ模索中ですが、無人受付で借りられる点は独自のポイントの一つかもしれません。コロナ禍をきっかけに移行して、現在も続けています。Web予約でスムーズに利用できるからか、ありがたいことにお客様の約半数がリピートしてくださっています。

Hikariba芸術祭へ参加したきっかけは？

ひとえに「彦坂さんを応援したい」という思いからです。私たちの付き合いは長く、よく仕事のことで相談するのですが、いつも真剣に答えてくださいます。そんな彦坂さんに対して少しでも力になれることがあればと、恩返しのため参加を決めました。

2026年のテーマ「揺らぎ」について思うことは？

車を買う人が減ったという意味では、自動車業界も揺らいでいます。しかし“買う”ことのハードルが上がった分、レンタカーやカーシェアが注目を浴び始め、当社にとっては追い風です。車を持たずに乗りたい人の暮らしをさまざまな形で支えたいですね。

今後のお仕事の目標を教えてください。

“旅行をさらに楽しめるレンタカーサービス”としてpastelレンタカーを広めることが、かねてからの夢でした。「旅したいな」「どこか良い場所ないかな」という方がお得に出かけられたり、まだ見ぬ景色と出会えたり。そんなお手伝いができたら本望です。



協賛パートナー

ゆりのき法律事務所

弁護士

庄田 優

profile

千葉県出身。小学生時代に出合った本をきっかけに弁護士を目指し、さいたま市にて司法修習を修了。大倉浩法律事務所を経て、2023年にゆりのき法律事務所へ入所。

事業：弁護士業務（注力分野：家事事件・少年事件／破産・労働法務）

所属：埼玉弁護士会／県立児童養護施設上里学園指定管理者候補者選定委員会

趣味：仕事の後に食べるラーメンが至福の時間です！

弁護士を目指したきっかけを教えてください。

家庭環境に悩み、小学3年生頃まで学校を休みがちで登校しても喧嘩ばかりの日々でした。しかしある時、大平光代先生の本『だからあなたも生き抜いて』に出合ったんです。いじめや非行を乗り越えて法の道へ進んだ姿に感銘を受け、私も弁護士を志しました。

弁護士として特にやりがいを感じる瞬間は？

少年事件で10代の依頼者が心を開いてくれる瞬間です。彼らと同じ目線になって話すうちに打ち解けてくれて。私と同じく家庭環境に悩む人も多いですね。「俺も悩んだよ」と共感しながら今後の人生を共に考えられるのは、私ならではの支え方かもしれません。

Hikariba芸術祭参加の経緯を教えてください。

少年事件を担当する他、虐待経験者を支援するNPO法人に携わるなど、子どもに関わる仕事が多い私に彦坂さんが声をかけてくださったんです。子どもの幸せな人生を願う弁護士として、このイベントの安全な運営を支えたいと考え、参加を決めました。

Hikariba芸術祭にはどんな思いがありますか？

「幼い頃から芸術に身近に触れてもらいたい」という彦坂さんの考えに共感しました。自信がなく引っ込み思案な子どもが、芸術に救われることも多いはず。自分の“好き”や“得意”を見つけ、今後の人生のヒントを得られる時間になったら素敵ですね。